第　　号
令和　　年　　月　　日

文化庁長官　殿

団　体　名
住　　所
代表者職名
代表者氏名

令和元年度 文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）交付申請書

令和元年度 文化資源活用事業費補助金（文化財多言語解説整備事業）について、補助金の交付を受けたいので、補助金に係る予算の執行の適正化に関する法律第５条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

事業の名称	
補助金の交付申請額	円 （総補助事業経費　　円　） 補助率　　％
補助事業の着手及び完了の予定期日	着　手　令和元　年　　月　　日 完　了　　年　　月　　日

（ふりがな）	
担当者氏名	
担当者所属機関・部署名	
連絡先　（TEL）	
〃　（FAX）	
〃　（E-MAIL）	
書類等の郵送先	
その他（日中連絡先）	

＜事業計画書＞

事業の名称	

整備事業の概要

関連するほかの事業概要（国際観光旅客税充当事業）					
事業名		年度		備考	
事業名		年度		備考	

日本版DMOの参加状況（該当ある場合に記載）			
日本版DMOの名称		備考	
事業への関わり状況			

具体的な指標及び目標値①														
対象文化財の外国人観光客数	現状値	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		目標値	5年度	

具体的な指標及び目標値②														
対象文化財の外国人観光客満足度	現状値	30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		目標値	5年度	

補助率調整　見込み											
①対象文化財数	文化財数		→	加算見込み		⑤推奨人材の監修	状況		→	加算見込み	
②事業規模	事業費		→	加算見込み		⑥日本版DMO	状況		→	加算見込み	
③補助事業者の財政規模	財政力指数		→	加算見込み		⑦先端技術を利用した解説板に加え、複数の技術整備	状況		→	加算見込み	
④他の国際観光旅客税事業との連携	状況		→	加算見込み		調整見込み分　合計			→	加算見込み	

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

＜収支予算書＞

区分		金額 （予定を含む。）	内訳	備考
収入の部	本事業以外の 支援金・助成金	0		
	その他収入	0		
	小計（A）	0		
	自己負担金（B）	0		
	本事業による補助金の交付申請額（C）	0		
①収入合計 （A）＋（B）＋（C）		0	0	

区分		総事業費	交付申請額	左記のうち自己負担額等
支出の部	総事業費	0	0	0
	事業経費	0	0	0

＜支出内訳明細＞

事業名称	経費内訳	総事業費	交付申請額	自己負担額等
合　　計		0	0	0

実施体制の概要

<table>
<tr><td rowspan="2">（ふりがな）
名称</td><td></td><td rowspan="2">（ふりがな）
代表者職名・氏名</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">所在地</td><td rowspan="2"></td><td>電話番号</td><td></td></tr>
<tr><td>FAX番号</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">構成員</td><td colspan="2">構成団体</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>組織図</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

※ 委員会等の設置規則を併せて提出すること。

※ その他、本事業に協力することが可能な地域住民等による団体（例：自治会、町内会、公民館、NPO、文化財愛護団体等）を把握していれば、リストを提出すること（様式自由）。

見積番号

見 積 書

殿

について、下記のとおりお見積もりします。

年 月 日

印

金 円

事項	金額	備考
合計		

整備対象文化財一覧表

〇一覧表①現状等

	文化財種別	指定等文化財の名称	写真	当該文化財の概要 （簡単に当該文化財概要を記載してください。）	所在地	現在の解説の有無 （日本語）	左欄で有の場合、その媒体を記載	左欄で有の場合、案内板の有無を記載	現在の解説の有無 （外国語）	左欄で有の場合、その媒体を記載	左欄で有の場合、案内板の有無を記載
例	重要文化財	〇〇神社	＜当該文化財にかかる主要な写真１枚を枠内に貼り付けること。＞	＜当該文化財の概要を記載＞	〇〇県〇〇市〇〇１－２	有	パンフレット	案内板　有	英	パンフレット	案内板　なし
1											
2											
3											
4											
5											

整備対象文化財一覧表

〇一覧表②　先進的な媒体

	文化財種別	指定等文化財の名称	今回整備予定の先進的な発信媒体								
			呼び出し手法	コンテンツ種別	コンテンツの尺または体験時間	本数	情報発信手法	権利者等	同意書添付有無	着手時期	完了時期
例	重要文化財	〇〇神社	QRコード	VRコンテンツ上の音声ナレーション	5分のコンテンツ	１本	貸出タブレットから閲覧	〇〇神社（所有者）	有	12月上旬着手	3月中旬完了
1											
2											
3											
4											

整備対象文化財一覧表

〇一覧表③　英語解説文

	文化財種別	指定等文化財の名称	今回整備予定の英語解説文										
			日本語元原稿の有無	使用する予定の媒体と使用手法	当該文化財あたりの解説文制作本数	制作する解説文の見込みワード数	執筆者（ネイティブであること）氏名（所属機関等）	執筆者の主なライティング経歴	監修者（ネイティブであること）氏名（所属機関等）	着手時期	完了時期	校正者（所属機関等）	編集者（所属機関等）
例	重要文化財	〇〇神社	有	VRコンテンツへのナレーション	３本	150ワード	〇〇氏（〇〇博物館学芸員）	平成28年：〇〇英語版ホームページ担当	△△氏（〇〇大学△△学部教授）	7月上旬着手	12月上旬完了	〇〇氏（〇〇）	〇〇氏（〇〇）
例	重要文化財	〇〇寺	有	QR付き案内板	５本	200ワード	交付決定後に選定しますが、ネイティブのライターが執筆します。	交付決定後に選定するが、ネイティブのライターを予定	△△氏（〇〇大学△△学部教授）	8月上旬着手	11月下旬完了	〇〇氏（〇〇）	〇〇氏（〇〇）
例	史跡	〇〇遺跡	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作	観光庁事業で制作
1													
2													
4													
5													

※観光庁事業で制作済の場合には「観光庁事業で制作」と記載してください。

整備対象文化財一覧表

〇一覧表④　英語以外の解説文

	文化財種別	指定等文化財の名称	今回整備予定の多言語解説文＜英語以外＞									
			制作言語	使用する予定の媒体と使用手法	当該文化財あたりの解説文制作本数	制作する解説文の見込みワード数	監修者氏名（所属機関等）	着手時期	完了時期	執筆者（所属機関等）	校正者（所属機関等）	編集者（所属機関等）
例	重要文化財	〇〇神社	フランス語	QR付き案内板	３本	150ワード	△△氏（〇〇大学△△学部教授）	7月上旬着手	12月上旬完了	〇〇氏（〇〇）	〇〇氏（〇〇）	〇〇氏（〇〇）
1												
2												
3												
4												

要提出

申請書提出確認用シート

文化財所在地		都・道・府・県
文化財所在地		市・区・町・村
申請事業者		

チェック欄

☐ 1. 下記の提出書類は、全てそろっているか。（A4用紙、**片面**印刷、**ダブルクリップ留め**のこと）
※は全申請事業者必須。それ以外は該当がある場合に必ず提出。

☐ 2. 各様式について、未記入の欄はないか。

申請事業者　提出書類

☐ (1)交付申請書　※

☐ (2)事業計画書　※

☐ (3)収支予算書、支出内訳明細　※

☐ (4)整備対象文化財一覧表　※

☐ (5)事業者の財政状況を示す書類

☐ (6)協議会等（補助の対象となる者）の実施体制の概要

☐ (7)協議会等及び構成団体の定款に類する規約並びに構成員・構成団体の名簿

☐ (8)見積書
①使用料及び借料や役務費、委託費、需要費において発注見込額が10万円（税込み）以上の場合
②発注見込額が100万円（税込み）以上の場合は、複数者から徴取した見積書
③複数者の見積書が添付できない場合はその理由書

☐ (9)事業実施企画書 ※

☐ (10)整備対象文化財位置図・配置図　※

☐ (11)権利者からの同意書

☐ (12)申請書提出確認用シート　※